



### ●●●調理室●●●

動物園の門をくぐってすぐ左手に進み、図書館前を通り過ぎて生け垣に沿って歩いて行くと、「調理室入口」の表示板が目に入ります。また、ドラム缶を頭にしてリヤカーをひっつけたようなへんな車（モートルといいます）が、たくさんのポリバケツをのせて出入り入ったりするのを見かけられた方もいると思います。「一般の方の立ち入りをお断り」しているこの奥、動物たちの台所を紹介すべく、探検隊となって乗り込みました。

室内は、土足（たいていは長ぐつ）ですが、入口に消毒薬の入った浅い水槽があって、入室する前にこの中で消毒し汚れを落とします。

開放されたドアから一步踏み込むと、いきなり右手前に山盛りのりんご・バナナが芳香を放っています。

心の視線はそこに残したまま、正面奥に目を移すと銀色の扉。超特大の冷蔵庫と冷凍庫です。（後で実測したところ、家庭用大型冷凍冷蔵庫の約40倍の容量と出ました）冷蔵庫は、馬内用0℃の部屋、アジ用-5℃の部屋、野菜用5℃の部屋、そして-25℃の冷凍庫、

と4ドア仕様です。

そして左方に振り向くと、直径120.30cmはあるUF<sup>2</sup>の2機。実は、回転釜。今は蒸し器も用ですが、少し前までクマ用の麦炊飯器としても使われていました。ほんの6、7年前のことですが、普通の家庭にあるような2口コンロにたらいほどのなべをかけて炊いていた時に比べ、火加減や後かたづけが格段に便利になったというすぐれものなのだそうです。

という大まかな探検報告に引き続き、調理室担当者からの聞き取り調査報告に移りますと……

仕事は、一口に言えば飼料の質と量の管理です。個々の動物たちの餌作りは各動物の担当者が行なうため全体の量を把握し、業者への発注をとりまとめるのが調理室担当のメイン業務です。

“調理”とはいいますが、私たち人間の料理された食事と違って、動物たちの台所では煮る・焼く・揚げるなどのことはありませんし、塩コショウ味やカレー風味ということもありません。

根菜類の粉碎、冷凍保存してある馬肉・アジのその日の必要分の解凍・仕分けなどが、日々の作業です。何しろ、員数1200余りの大世帯。中には1頭で何十人分もの量が必要な動物もいて重労働です。

さあ、そろそろお腹を空かせた動物たちが、寝室（ダイニング兼用）の前をウロウロ、扉をドンドン……お待ちかねの時間です。準備を整えた飼育係員が、動物たちのもとへと、調理室を出発して行きました。



### サル島の思い出

#### 歴代担当者に聞く ②

サル島改修記念特集、サル島物語の続編です。子育てに関するお話をまとめてみました。

1. **コンマ** 順位の法則に従って、子より先に母親から食べるのが一般的ですが、餌を拾っては子に渡してやるだけでなく、まだ歯がしっかりしていない子にかみくだいて与えたりもしていました。右目が全く見えないというハンディを補おうと、人一倍愛情をかけていたのかも知れません。

2. **パンコ** 生後10日くらいになった子を自分の前において顔をのぞき込むようなしぐさまるであやしているかのように見えました。

また、子の尾や足をつかんで動かしてやり、親の手の届く範囲で遊ばせていたこともあります。子育て上手なお母さんです。

#### 3. タキ = 3話 =

① ふつうは、子をおなかや背中に抱きつかせて動くのですが、ジョウビタキが“くわえて歩く”という新手法を始めました。その翌年、ジョウビタキの母親に当たるタキが、その方法を取り入れていました。負うた子に教えられる(?)こともあるようです。

② 5年ほど子を産まなかったのですが、その寂しさからか、自分の娘の子（いわゆる孫）を取り上げて抱いていました。娘が取り戻す様子もないので、引き離してイノシシ穴の檻の中に閉じ込めたのですが、なんと檻越しにその孫を抱いており、感心するやら、あきれられるやら……

③ 育児ノイローゼだったのでしょうか。突然、子に対して邪険になることがあり、まるで洗濯をするかのように、子を地面にごろごろとこころがしつければという奇行に及ぶことがありました。

4. **ジーアイ** 早朝、顔を血だらけにして倒れているところを発見されましたが、翌日息を引き取りました。10日前に出産したばかりの子は、奇跡的にかすり傷だけでした。これは推測ですが、他のサルから攻撃を受け、子を抱いたまま逃げ惑ううち山から転落。顔面・頭部に致命傷を負いながらも、子はしっかりかばったようです。その朝、その子（ブルース）は、姉（ジーアイの前年の子）が抱いて守っていました。

- 第70号の発行は10月10日(火)の予定です。
- 定期購読を希望される方は、62円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申込み下さい。

動物園だより No.69 編集・発行人 野口義夫  
発行所 京都市動物園  
京都市左京区岡崎法勝寺町 TEL.075 (771)0210・0211